

以上會社は絶對讓步也。申議が長引けば乞ひ大ケ
申議團に不附て解僕者數て増加することとないから
一トし早や此の宜あじ解決はよと申議團の為めじあ
リ高此の宜あは最後的ものであることを述べべ野田
某に盡力ある所毎勵す傍うに野田中村某は此の
宜まじ申議團と交渉しつゝ、野田安なるものが絶体
的のものであることを信せむ。野田安あと申議團側
の西安東との合意的のものにして野田
理事會へ野田、中村、三田村等數度會見會社
説得し盡力方を依頼したが、その際度、野田理
事は、申議安の最終的あること今、社と交渉し
てし、約五年無ること、申議團間の西安の過大ある

こと解決の有利なることを説いていたのも御幸まば
申議團が強硬であるたゞ兩者の間あつて非常に差違
する事を訴え直率、申議團幹部は面會され
説得される。野依朝と、久二十九名班花七名等
田中村と野田理事面會席上、申議團解決の有
無あると説り、又も後半は強て、暫留儀外の山鱧
目的なことを何等統一なく、徳ノ丸理事の会見
と再交渉し、世々の慣習依頼する。申議安は絶対的
なることを告げ、後半の文書で、解僕者数を定めて會見を
絶る。彼等の言ふ如く総会ると解僕者数の予定
あること申議團中の口を支給、等があつて三千六千四百
れ左の申議團の能の二倍が解決に對し相当的